

JID

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1987 11・12

昭和63～64年度役員選挙について

選挙管理委員長 工藤 広忠

標記の選挙の開票は、去る12月4日午後1時から事務局において行なったが、その状況は次のとおりであった。

1. 出席委員

工藤 広忠、宇塚 嘉寿、伊集院 俊、伊藤 公子、

朝妻 昭子、田中作弥子 (以上6名)

委任状 小森谷幸子、脇田 正彦 (以上2名)

2. 開票状況

有権者 489人

投票数 260票 (投票率53.2%)

内 訳 有効投票 253票

無効投票 7票

3. 開票結果(得票順)

a-1 理事(関東)

川上 信二(111票)、渡辺 優(110票)、

泉 修二(103票)、長岡 貞夫(102票)、

森谷 延周(86票)、山品 元(81票)、

三輪 正弘(74票)、松本 哲夫(69票)、

中村 圭介(65票)、白石 勝彦(62票)

以上定数10名

次点 大野美代子(59票)、島崎 信(55票)

a-2 理事(関西)

山内 陸平(54票)、川崎 浩(48票)

富田 卓司(45票) 以上定数3名

次点 金子誠之助(38票)

a-3 理事(九州)

中川 千年(44票) 以上定数1名

目 次

●昭和63～64年度役員選挙について.....	1
●62・第4回理事会議事録.....	2
●第3回国際デザインフェスティバルの総括.....	5
●IFFT'87協賛パネルディスカッション.....	6
● 委員会の動き	
●国際委員会.....	7
●交流委員会.....	7
● 事業支部の動き	
●九州事業支部.....	8
●「型而工房から」豊口克平とデザインの半世紀...	12
●会員の消息.....	13
●新入会員の紹介.....	15
●事務局短信.....	19
● 委員会の動き	
●組織委員会.....	21
●総務委員会.....	21

次点 堤 久夫（3票）

a-4 理事（中部）

宇賀 敏夫（37票） 以上定数1名

次点 林 寅正（26票）

b-1 監事（関東）

榎田 均（23票） 以上定数1名

次点 長 大作（13票）

b-2 監事（関西、九州、中部）

樋口 治（17票） 以上定数1名

次点 岡村 実（17票）

4. その他

(1) 事務局長を監事として投票された数が13票ありました。いつも申上げているように事務局長は職掌柄監事にはなれませんので今後はご留意下さい。

(2) 投票の記号 ○（赤マル）□（黒）の記入がきわめて不鮮明です。大切なことなので今後は十分にご留意下さるようお願いいたします。

(3) たとえ、1名の方でも差し支えありませんので、ご投票下さい。できるだけ棄権はなさらないようにお願いします。

なお、開票日当日は年末のお忙しい中、ご出席いただた委員諸兄姉には、改めて誌上を借りて御礼申し上げます。

<備考>

1. 関西、九州、中部各支部の監事次点者は、樋口治氏、岡村実氏、それぞれ17票の同点につき、選挙規定第8条第2項により協会歴の古い方として、樋口治を当選とし、次点者は岡村実とした。
2. 九州支部の理事次点者は、堤久夫、溝口新、山永耕平の各氏、それぞれ3票の得票なので、同上規定により協会歴の古い堤久夫を次点者とした。

62・第4回理事会議事録

1. 日時 昭和62年10月30日（金）11:00～13:30
2. 場所 （財）大阪デザインセンター 会議室
大阪市東区船場中央2-2
船場センタービル4号館
3. 出席者 （別掲の通り）
4. 議題

I, 議案

第1号議案 事業の推進について

第2号議案 協賛・後援名義承認の件

第3号議案 入退会承認の件

第4号議案 議事録署名人選任の件

5. はじめに議事につき、議長として渡辺理事長より説明あり、報告事項より審議に入る。これに先立ち、山品事務局長より「理事総数15名中、理事15名（本人出席12名、委任状3名）で本理事会は成立した」旨、定数報告がなされた。

また、本日オブザーバーとして出席の、栢原秀榮氏（関西事業支部長）を紹介し、併せて日頃の同支部事業推進に謝辞を述べた。

第1号議案 事業の推進について

議長は前理事会（62.9.25 東京開催）以降の、事業推進状況の概要について事務局長に報告するように求めた。

さらに、補足すべき点について各担当別に理事の発言を求めた。（以下カッコ内は発言理事名を示す）

㊦ 選考委員会（川上信二委員長）

去る10月26日開催の委員会で、以下の点を決定した。

・1987協会賞

顕彰事業の活性化を計る。その一環として、過去の受賞者による候補推薦を企画した。

・野口記念賞

第6回に当たり活性化を試みる。また、第7回目以降は事業の見直しや内容検討を考える。

・IFI関係

エネ・ボイセン氏（デンマーク）より口頭で、インテリアデザイナーに関する照合がある。委員長が対応し、経過を含め、結果を理事会に報告する。

・国井喜太郎産業工芸賞

本年度の推薦候補として秋田木工（株）を内定した。（川上）
以上につき渡辺理事長、これを諮った。理事会は了承した。

㊦ 総務委員会（秋山修治委員長）

去る10月16日に委員会を開催し、諸規定他兼題とされるテーマについて検討を加えた。（森谷）

㊦ 組織委員会（小坂希八郎委員長）

10月7日に委員会を開催した。11月6日に再度開催し、検討項目等を洗い出す方向で進めている。

（森谷）

これに対し、議長は基本問題懇談会との関連事項も少なくない、との見解を示した。

㊦ 交流委員会（山本棟子委員長）

・9月25日、通産省検査デザイン行政室・長尾梅太郎室長以下のスタッフ及び交流委員会、正副理事長、事務局長など合計17名が出席し、「インテリアデザインについて」のテーマで初会合を持った。行政側との理解交流が一段と深まった。

・10月22日、第3回正会員と賛助会員との交流パーティをヤマギワ株式会社（東京）で開催した。参加者72名を数え盛会であった。

㊦ 国際委員会（後藤宣夫委員長）

・10月1日、去る8月に代表団を海外派遣した「デザイン'87アムステルダム会議」の報告会を東京で開催した。

38名の出席が得られ、速報をJ I D NEWSに掲載した。

・10月2日、委員会を開催し、「イベント'89提案」について討議し、まとめた。（大野）

上記について大野理事より内容説明が加えられた。議長は、30周年記念事業との関連もあり、十分時間をかけ基本審議を次回理事会に委ねることとしたい旨提案した。

理事会は、これを了承した。

㊦ 広報委員会（吉良ヒロノブ委員長）

・現在既刊の機関誌104号の残務整理を行っている。
・11月6日、委員会開催の予定である。次号機関誌105号の特集は、＜世代デザイン論＞となっている。

理事会は、これを了承した。

㊦ 出版委員会（三宅正郎委員長）

去る10月2日、14日の2回にわたり、委員会を開催した。11月11日に委員会を開き、兼題の「ポートフォリオ」企画について内容の検討を続けている。

㊦ 教育委員会（田辺麗子委員長）

機関誌104号に特集「インテリアデザイン教育」を掲載したが、資料の残務整理を行っている。

10月24日に報告内容の訂正・補足等を含む反省委員会を行い、11月18日に更に委員会を開き、まとめる予定。（長岡）

㊦ I F I 出版委員会（川上信二委員長）

10月5日、第70回委員会を開催し、事実上の事業を終了した。委員会の席上、渡辺理事長より（株）六耀社 橋本社長に感謝状を贈呈した。「世界のインテリア」の出荷状況は概ね順調である。J I D会員の購入を働きかけたい。（川上）

理事会は拍手を以て、成功裡の事業の終了に報いた。

㊦ インテリアマップ委員会（長岡貞夫委員長）

トーソー出版（株）、J I D事務局経由いずれも出荷は概ね順調である。

年度中に次回の基本構想をまとめ、昭和63年度に



62年度第4回理事会（於大阪デザインセンター会議室）

備えたい。(長岡)

㊦ 記念事業委員会(渡辺優委員長)

去る10月27日、第1回の企画小委員会を開催した。前理事会で指名の各理事に加え、中村理事の出席も求めた。引き続き、第2回小委員会を次回理事会前に開催したい。できれば、山内、宇賀、中川各理事に参加を求める他、国際担当の大野理事、後藤国際委員長などにも出席要請を考えたい。

理事会は、これを了承した。(渡辺)

㊧ 資格制度対策委員会(中村圭介委員長)

10月14日、インテリアプランナー資格制度実施団体である(財)建築技術教育普及センターよりの資料「昭和63年度講習案内」を第4報として会員に配布した。(中村)

㊨ 共同事業委員会(三輪正弘委員長)

9月30日および10月12日の両日、委員会の中の、IFFT'87部会を開催した。'87東京国際家具見本市の主催団体である(社)国際家具産業振興会の企画(パネルディスカッション、11月20日予定)に協力する内容を検討するためである。

また、JAPAN TEX'88部会を10月3日、10月22日にわたり開催した。JAPAN TEX'88の主催団体、日本インテリアファブリックス懇話会の企画「第1回日本インテリアテキスタイル作家展」の内容検討のためである。同作家展の概要はJID NEWS誌上に掲載、会員周知する方法をとる。

㊩ 事業支部関係

・関西事業支部(栢原秀榮支部長)

10月8日に藍綬褒章受章の樋口治氏の祝賀会を開催した。内外より300人に及ぶ参加者があり、盛会であった。「インテリアプランナー資格制度対応セミナー」は10月25日に無事終了した。

10月31日に第3回デザイナーレ(国際デザインフェスティバル協賛)を開催する。JIDよりも30人を超す参加が見込まれる。

以上、本日出席の栢原支部長より説明された。

・九州事業支部(幸重篤典支部長)

来る11月7日～8日の両日、研修会と見学会を開催する。「ザ・バザール ヒタ」の催しに合わせた研修で、山国町に一泊、併せて会員の親睦も計る。見学は歴史民家の見学を予定している。以

上、資料により理事が補足説明を行った。

・中部事業支部(林寅正支部長)

かねてより継続的にインフォメーションが流されている「世界デザイン博覧会」(1989年)の、その後の動きについて、宇賀理事が説明を行った。

以上、㊦～㊩の14項目について、渡辺議長が重ねて、総括と確認を行い、理事会に諮った。理事会はこれをいずれも了承した。

第2号議案 協賛・後援名義承認の件

議長は次の2件について事務局長に説明を求めた。事務局長は資料に基づき説明を行ない、また、前例にならって実施した項目について報告した。議長はこれを諮り、理事会は次の2件につき異議なく承認した。

・"リフレッシュ・ハウジングフェア'88"(協賛)

主催 大阪ハウジングフェア運営会

(財) 大阪住宅センター

(財) 大阪デザインセンター

(63.4.23～29 大阪)

・クラフトヨコハマ展

—ハマのクリエイター55の風—(後援)

主催 クラフトマンズヨコハマ

(62.11.19～24 横浜)

第3号議案 入退会承認の件(11件)

議長は次の11件につき、事務局長に内容説明を求めた。事務局長は各々の提出資料に基づき説明を行った。

・正会員の入会(8件)

氏 名	種 別	保証推薦者
南 等	正会員	内田 次彦・山崎 晶
田島 理子	"	山品 元・森谷 隆男
矢野 正則	"	栢原 秀榮・宮本 誠三
保科 和夫	"	山品 元・長澤精一郎
三上 英夫	"	" . "
田島 憲悟	"	中村 圭介・白石 勝彦
後藤みね子	"	山崎 晶・安永 一典
平川 義浩	"	" . "

・賛助会員の入会(1件)

名 称	種 別	紹介者
株式会社テキスタイル飯田	賛助会員	大野美代子

・退会（2件）

名 称	種 別	
東 商 株 式 会 社	賛助会員	
内 山 八 代 栄	準 会 員	

理事会はこれを諮り、いずれも異議なく承認した。

会員数は合計で655名（社）となった。内訳は、名誉会員31名、正会員499名、準会員37名、賛助会員88（社）である。

第4号議案 議事録署名人選任について

議長は議事録署名人に、川崎浩・山内陸平、両理事の選任を提案し、承認を諮った。異議なく承認された。

（社）日本インテリアデザイナー協会62・第4回理事會に關し、定款第28条の定めるところにもとづき、議事経過の要領および議決事項を記すため議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 渡 辺 優 ㊦

議事録署名人 川 崎 浩 ㊦

議事録署名人 山 内 陸 平 ㊦

62・第4回理事会出席者名 （敬称略・順不同）

渡辺 優，川上 信二，大野美代子，川崎 浩
宇賀 敏夫，中川 千年，中村 圭介，長岡 貞夫
森谷 延周，山内 陸平，樋口 浩，山品 元

理事総数15名中理事15名（本人12名，委任状3名）

6. 報告事項

Ⅱ，報告事項（9件）

① 財政報告（昭和62年上期）

＜自 62.4.1～至 9.30＞

岡村・榎田両監事より報告書が提出された。

② 借入金完済

61. 第5回理事会第3号議案による借入金

62. 9. 30 付で完済した旨，事務局長より報告。

③ （株）六耀社に対する感謝状

62. 10. 5 付で贈呈した。

④ 準会員資格変更督促

62. 10. 12 付（対象者11名）で，文書を発送した。

⑤ 大型会員証申込状況

62. 10. 29 現在55名の申込があった。

⑥ 役員選挙管理委員会人事

委員長 工藤 広忠の他，

委 員 伊集院 俊，宇塚 嘉寿，小森谷幸子，

脇田 正彦の合計5氏に委嘱した。

⑦ I F I出版委員会関係

作品返済手数料の一部，J I Dを通じI F Iへ寄附の方向で決定した。

以上，川上委員長より報告された。

⑧ 樋口治さんの藍綬褒賞を祝う会盛会

62. 10. 8 （千里阪急ホテル 300名）

オブザーバー出席の栢原秀榮関西支部長より，当日の様子が報告された。また，樋口理事より謝辞が述べられた。

⑨ 消 息

・木村理事（退院，現在リハビリ中）

・豊口克平名誉理事

（出版記念会より，「形而工房から」豊口克平とデザインの半世紀と題し，美術出版社より11月出版されることとなった）

理事会は，上記①～⑨をいづれも了承した。

次回，62・第5回理事会は12月18日（金）東京開催の予定。

第3回国際デザイン

フェスティバルの総括

■開幕式典（コンペ・アワード表彰式）

日 時／昭和60年10月30日（金）

場 所／「インテックス大阪」国際会議ホール

アワード受賞者表彰

（選考経過報告：泉 真也審査員）

コンペティション入賞者表彰

（選考経過報告：永井 一正審査員）

来賓祝辞

「国際デザイン展'87」内覧

「インテックス大阪」1号館入口

記念レセプション

「インテックス大阪」国際会議ホール

参加者 600名

J I Dよりも渡辺理事長をはじめ，役員多数，そして地元関西事業支部会員の会員が沢山参加したのは喜ばしい。



■関連行事

◆デザイナーレ'87

大阪のデザイン団体がホスト役となり、日本各地から、世界各国からデザイナーが一堂に会します。国際デザイン・アワード受賞者の記念講演会のあと、会場を大阪湾上に移しての内外デザイナーの交歓パーティーと、まさにデザイナーズディの1日であった。

主催／DESIGNALE OSAKA COMMITTEE

日時／昭和62年10月31日（土）13:00～21:00

●第1部 記念講演会

講演者 ノーマン・フォスター（建築家／イギリス）

栄久庵憲司（工業デザイナー日本）

R. D. E. オグズナー（オランダ 郵便電信電

話公社 美術・デザイン局長／オランダ）

会場／インテックス大阪・国際会議ホール

参加者 350名

●第2部 大阪湾上交歓パーティー

会場／ルミナス神戸号（神戸・メリケンパーク・

中突堤より乗船）

参加者 650名

◆大阪中小企業デザイン振興会議

企業のデザイン戦略が経営を大きく左右する中堅・中小企業のデザイン問題を解明し、企業デザインの強化を図るシンポジウムを開催します。

テーマ／デザイン戦略による中小企業活性化の道

主催／大阪中小企業デザイン振興会議運営委員会

会場／インテックス大阪・国際会議ホール

基礎講演／新井真一（本会議運営委員長）

講師／葛西健蔵（アップリカ葛西株式会社社長）他

参加者 400名

（関西事業支部）

IFFT'87協賛パネル

ディスカッション開催

去る11月18日～22日の会期中に、J I Dの協賛のもと、パネルディスカッションが催された。「生活の場としてのオフィス——ゆとりと快適なオフィスインテリア」と題して、時宜を得た企画となった。

現在、家具業界が新しい需要の機会として注目している通産省の「ニューオフィス構想」をとり上げ、関連業界の取り組み方を、デザイナーの側からも主導的、意欲的に提案して行こうとするものであった。

パネラーには小坂希八郎、清水忠男（以上J I D会員）、小菅康正（業界）、南川英雄（ニューオフィス推進協議会）の方々が出講し、進行役としてのコーディネーターは、渡辺優（J I D理事長）氏がまとめを担当し、受講者（150名）に実のある催しとなった。J I D側の企画担当は共同事業委員会が実行した。

（事務局）



委員会の動き

●国際委員会

— 第15回 委員会 —

昭和62年10月2日 18:30～23:00

場所：有限会社 日渉企画（奥沢）

出席：川上信二副理事長 田辺 麗子

後藤宜雄委員長 大橋 義博 齊藤 武行

矢作 彩子 熊木 光吉

報 告

●「デザイン'87アムステルダム会議」について

川上信二副理事長、田辺麗子氏、大橋義博委員より、前日のJ I D関東事業支部サロンに於けるアムステルダム会議報告会に引き続き、スライドによるツアー報告が行われた。

議 題

●イベント'89について

1. 国際委員会が検討を続けてきたアジア地域インテリアデザイナーの交流を主たる目的としたイベント、仮想「イベント'89」を、J I D全体の企画としてデザインイヤー'89と並行開催することを理事会に提案する。
2. 海外のイベント参加対象者は、対象各国インテリアデザイナー協会等関係団体の代表者、J I C A主催のデザイン研修参加経験者等としたい。
3. イベントの具体的な案を叩台として作成した。
4. イベント開催資金の調達先によってイベント企画内容が方向づけされるため、J I Dとして資金調達の可能性を検討願いたい。

フィンランドデザイナーとの懇親会

去る11月4日(水)、折からスカンジナビアデザイン展に際し、来日中のフィンランドデザインツアーの8人と、急ぎ懇親会を持った。前半は、J I D出版物「世界のインテリア」に集録の、主に日本のインテリアデザインに関するスライド紹介を行ったが、後半、アルコールとともに、和やかな交流となった。出席者以下の通り。

J I Dより、大野美代子、後藤 宣夫、矢作 彩子、矢吹 宏、中川 千早、齊藤 武行、川上 信二、佐々木 浩、山品 元、ら12名。

フィンランドより、VESARA . JUNTILA氏ら8名

(以上20名)

●場 所 インテリアサロントーコー

(関東事業支部サロン)

(文中敬称略、順不同)

●交流委員会

第3回正会員と賛助会員の交流パーティー

日時／昭和62年10月22日(木)

17:30～18:00 「リビナ館見学」

18:00～18:30 「光と音のエフェクト」

18:30～20:00 「交流パーティー」

場所／ヤマギワリビナ館

交流パーティーも3回目となり今回はヤマギワリビナ館を会場にして開催されました。ヤマギワ(株)の協力を得て、見学とパーティの他、パフォーマンスを加え、70名を越す盛会となりました。特に今回は通産省検査デザイン行政室から5名の出席をいただき、又外部の方々の参加も得られ、会員の皆様とのざっくばらんな話し合いの場となり、より広い意味での交流会になった事は大変有意義だったと思います。本来この会は会員相互の交流と情報交換が主旨ですが、インテリアデザインを軸にして輪を広げ、より発展してゆきたいと考えて居ります。今後に向けて会員の方々のご希望や各社独自の企画を委員会に持ちこんでいただきたいと思います。

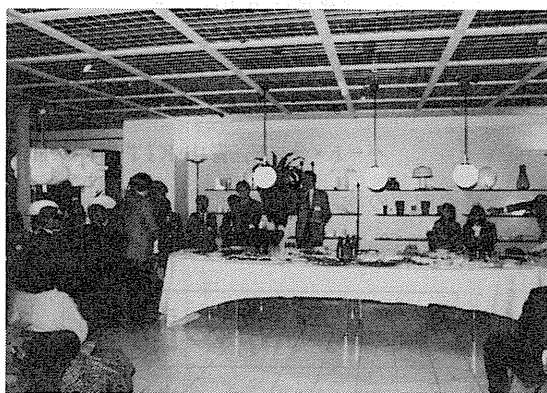
<出席者>

正 会 員 — 42名

賛助会員 — 7社 16名

そ の 他 — 16名

(交流委員 見城美子)



進行は長谷川隆之さん(副委員長)



挨拶する川上信二さん(副理事長)



交流の実が……。食欲も秋。

委員会報告

日 時／昭和62年11月19日（木）P.M. 6:30～9:00

場 所／新宿ステーションビル・マイシティ8F

プチモンド

出席者／山本 棟子，長谷川隆之，杉本真一郎，

金子 浩子，見城 美子

議 題

1. 通産省との懇談会のまとめ

（インテリアデザインへの入稿）

2. 新年会について

（15日までに事務局に提出すること）

●日 時 1月25～28日頃

●場所候補 スパイラルビル，三井クラブ

ハート・ランド，青山・KITAACHI

●当日の内容の検討

事業支部の動き

●九州事業部

昭和62年度アンケート集計

（回収率36名中19名，53%）

① 事業計画全般について

① 見学会

B，新・旧のうち，出来れば新しいもの，そして設計者の説明つきで見学したい。コンセプト，そしてコンセプトにもとづく表現（技術），素材，色，型，etc.を学びたい。

G，永井敬二さんのコレクション見学，会員外で未

だ永井さんのコレクションを見ない人の為に催してはと考えます。またこれによっていくらかでも新会員の勧誘が出来ればと思います。大川の産業技術資料館～清力美術館～柳川お花屋敷～北原白秋の生家等の散策。

I，J I D九州支部単独で行わず，他の見学会や研修会等に商工会議所や通産省の機関等と連絡会を持ち，合同参加出来る様に運営する。

J，新しいマンション，生活をしている所を見たい。

K，見学会は日頃行けない所への計画をしているので出来るだけ参加したいと思っている。

L，会員相互のコミュニケーションをはかる為にも良い事と思う。年に1回は実現したい。

N，岩国の錦帯橋の見学。

O，見学会は有効である，色々と企画して下さい。

P，見学会，研修会を含め年間2回は必要だと思います。

Q，1回は日帰りで，1回は一泊して勉強会（スライド等）懇親会。

Q，見学会候補地を探すのに大変だと思いますが，年に1回位は良いと思います。また，会員から候補地を提出してもらう方法も良いのでは。

R，年1回実施して欲しい。

S，マンション見学，東南産業

② 研修会 ③ 講習会

B，照明，壁装材 etc. インテリアの様々な分野の専門家（メーカー含む）の最新の製品，技術，施工等々を学びたい。（それにもとづく見学会等）。

I，特に商工会のデザイン分野での研修会等は中小企業者を参加させ行なわれている様子でJ I Dが講師として参加してはどうか。

J，セミナーの開催を，東京，大阪の会員の方。

K，実施すべきである。たとえば，1.人間と自然について，2.インテリア家具素材，3.今後の日本のインテリアについて，世界とのかかわり等。

・個人的に地域別会場に分けて実施し，参加しやすいようにする。

・不可能な場合，地域別集会をして研究→まとめ，資料作成，発表会を1日かけて実施する。

L，外部に向けてより講師（業界より）を選び勉強会程度の対話集会が良いと思う。技術面，マーケ

ッティング。

N, 討論会の形式にしては、新資格に対する講習会を開き、若い人(会員外)が参加出来る機会を作る。参加者より意見を吸い上げる機会も考えては。

O, 機会あるごとに聞いて勉強する必要がある。

P, 年に最低1回は必要だと思われる。

R, 年1回位必要ではないか。

S, 照明関係の研修会を(業界に依頼)。

B, 一般へのアピール(JID)という意味で各エリアのたとえば、各地域の主婦等を対象にインテリアセミナーや、身近に入れるインテリア入門等の講演会等の開催。(他地域へ出張をお互いにするのも面白いのでは)

G, 佐賀工業試験場に現在設置してある、アメリカ製、パソコン『マッキントッシュ』は国産品よりもビジュアルデザインに於て大変利用価値の高いパソコンです。(株)ジムコ(佐賀市内)であつていただきますので、講習会等で是非一度御紹介したいと思っております。

④ 展覧会

A, 2年に1回開催の展示会は、これからも実施してほしい。

C, P R上必要と思います。(現状通り)

I, 毎年1回は行なうべきで恒例にしてゆけば広報にも役立ち、もっとJIDの存在を世間に知らせるべきである。

K, 現在の2年に1回ぐらいがよい。場所は県美術館とし、期日を全九州展か、新春展の会期に合わせる。

L, 会場開催地の移動を考える事、作品がプロダクトにならざるを得ない現状では、九州地区内の産地、適当な施設で開催すれば、その地域業界に対して、協会の認識にもつながり、会員の方々にとっても良い事と思う。

人と人とのつながり、2年に1回程度でよい。

N, 来年度の計画打合わせについては早目にじっくりねって下さい。終了直後、批判、反省をみっちり行ない次会に備える。

O, 福岡室内デザイナーグループ時代から続いているので大いにやりましょう。

Q, 現状2年に1回位のペースで行っていますが、

家具が主体です。店舗等を行なっている人達も何らかの方法で出展出来るように、またインテリアを業務として行っている会ですから場所は美術館よりは、全九州家具展等のように業界の人達に見てもらう方がよいと思います。

R, 美術館での展覧会は続けて行きたい。

S, 現状通りでよい。

⑤ その他

B, 中央の活躍している会員を呼んで一般の方々へのアピールもかねて、私自身もその方のデザインコンセプト等を聞けるとよいと思っています。

D, 義務的な会合でなく自発的な会合が望まれますが、インテリアというジャンルではくくられていますが、各自の仕事の内容が少しずつ違うため、まとめる事は非常にむづかしいと思います。本部でも参加されている人数は非常に少ないのではないのでしょうか? 色々な事が考えれば考えるほど何も答えられなくなります。

J, 九州インテリアマップの作成。

L, インテリア関連企業との交流をはかる社交の場を設ける。

N, 事務局協力者として若い会員担当者を決める。

P, JID九州事業支部に入会して良かった。若い人入会した人ががっかりしない様な会にするには、皆んなが真剣に考える必要があり、その節目にきている様である。

H, 総会の開催は4月にすること、会議の席上でのコミュニケーションの結果を事業計画の策定とすることを希望します。

② 委員会構成について

総務委員会	必要	8	必要ない	9
事業委員会	必要	12	必要ない	5
広報委員会	必要	12	必要ない	5
企画委員会	必要	12	必要ない	5
財務委員会	必要	4	必要ない	13
作品展実行委員会	必要	11	必要ない	6
その他委員会(地区委員会<意見をまとめる機関>)				
解答なし		2		

③ 支部長、各委員長、役員選挙規定

必要 14 必要ない 2 無回答 3

④ 支部内規作成について

必要 17 必要ない 1 無解答 1

意見 中部支部を参考とする点は良いが、九州地区を基本とした内規にしてほしい。

⑤ 支部全般に関するご意見を

D, 色々な委員会を作るよりも、どうして参加者が少ないのかを考えなければならないのではないのでしょうか。魅力がないのではないのでしょうか。

E, アンケートの結果、支部内規(案)などをテーマにした臨時総会を今年度内に開催したらいかがでしょうか。現状では意見の集約がかなりむづかしいと思われまして、若し、できたとしても、総意として決定づける根拠がありません。少なくとも過半数以上の出席者による総会で今後の方針なり、規約の制定について論議する必要があると思います。

アンケートの結果、規約の作成が否定された場合には支部活動の基本にかゝわる問題として、『今後いかにあるべきか』を主題としてでも、臨時総会を開くことが必要と思います。

G,1) 事業計画については、年3~4回定期的に今回の様に会員全員より案を提出してもらうようなシステムを作っては?

2) 支部内規については是非とも必要と思う。九州事業支部もこゝらで、一度何らかの形で脱皮する必要が有ると思います。

3) 委員会については、以前の様に名目上の為だけでなく、もっと実質的に活動する。また、しやすい体制にシなくてはならないと思う。

4) 事務局に頼りすぎの面が多々有り、これによる会員各自の自覚が損なわれているのも事実だと思う。これは、内規等の制約するものが、あまりにも無さすぎる為であり、支部内規作成については大いに賛成。

H, 支部の運営に問題点が多く、会員の意見を反映することなく、魅力のない会となっている。参加者も減少してきた。総会なども議長を選出し進行すべきで慣れ合いで進められている。根本的な話し合いが必要。

I, 通産省や商工会へ積極的に働きかけ、企業とのジョイントとは(例)商工会主催のJ I D九州後援で企業とのデザインデスカッション、または、研修会、外国視察ツアー等、もっとJ I Dの広報活動を行う

べきである。

L, 協会費の職域が住空間、商空間、そして教育指導者、企業勤務者、経営者(施工業者、設計業者)等、色々の分野にわたりますので、考え方、意見が違ってあたりまえだと思います。協会の規則等のかたぐるしい面や本部の決定の報告等だけでなく、支部の意見を本部に申し入れる等、支部会員の不満を取りあげるとかして協会そのものの改革も必要だと思います。

インテリア業界の情報化及び時代の先き取り等に協会がついていけなくなっている様です。例えば、インテリア・アドバイザー、コーディネーター(通産省)、プランナー(建設省)とインテリアデザイナー(職能)の位置づけ等、今後の問題等ははっきりしていません。この様な時代では親睦団体として支部会員のコミュニケーションをはかり、不満を本部にうたえて行く事がとりあえず必要だと思います。長期的には色々ありますが。

現在の準会員は正会員になっていただく事。

M, 長らく会の活動に不参加で申し訳なく思っております。不参加の理由として、(1)に私事務所の忙しさに追われている事、(2)九州支部としての対外的J I Dの役割り等の活動がやゝ弱い為、J I D会員のグループ内活動で終止している様で、今一つ積極的になれないのかもしれませんが、私が全て悪いと反省をしています。

N, ヤングの層がうすいので、入会希望の魅力を考えなければならないと思うが、その方法について意見を出し合う機会を作らなければならないと考える。

P,1) 支部総会、支部会合を含め、年々商業施設、企画設計を専業とされている人の出席が減じている様である。何が原因なのか? 中村さん、天本さん等の意見を拝聴する必要がある、その辺が会の活性化にも影響していると思われる。

2) 事務局の問題については、各委員会を強化する必要がある(責任をもつ)事務局も非常に大変ですから、正副、2人制をとったらどうでしょうか、副の人がサポートしてもらえる様に、あまり事務局に負担がかからない様に。

3) 会の活性化には、もっと若い人が中心になってもらいたい。ニューリーダーに期待したい。各委

員長は若い人を起用すべきだ。

R, J I Dの存在をPRする活動が必要ではないかと思う。例えば美術館での展覧会を終了後、それをそのまゝ大川産地に移して展示するとかはどうか検討してみてもと思う。

S, 委員長の若返りと活性化を, 若い会員の勧誘を行い, 組織の若返りを計る。

(以上)

デザインコンペ2題

ADAL ファニチャーデザインコンペティション

- 主 催 株式会社アダル商会
- 応募期間 62. 9. 1 ~ 63. 2. 10 (当日消印有効)
- 募集内容 「美味感, 求む — 飲食をテーマとしたスペース (商業空間) の椅子のデザイン」
- 賞
アダルデザイン大賞 1点
記念レプリカと副賞 100万円
ゴールド賞 (優秀賞) 1点
記念レプリカと副賞 50万円
シルバー賞 (佳作) 3点
記念レプリカと副賞 10万円
ほかに, 奨励賞など。
- 審査員 松村 勝男, 黒川 雅之, 内田 繁,
武野 重美, 高山 和幸 (敬称略)
- 問い合わせ先

(応募用紙の請求先)

〒160 東京都新宿区新宿1丁目6-5
シガラキビル7F 株式会社イスマ商会・アダル・
ファニチャーデザインコンペティション事務局
TEL 03(226)5252

コイズミ国際学生照明デザインコンペ

昭和62年11月20日現在, 在籍中の学生・生徒のための,
デザインコンペです。教育関係のJ I D会員に主にお知らせします。

- 主 催 小泉産業株式会社
- 受付期間 ①参加申込書受付
昭和62年11月20日~昭和63年3月10日
当日消印有効
②作品受付

昭和63年3月15日~昭和63年3月25日

必着

- 後 援 JIDPO, JIDA
- 募集内容 作品は「あかりの造形」であれば, どんなものでも自由です。どんだんご応募ください。ただし未発表でオリジナルなものに限ります。
- 賞
コイズミ賞・
金賞 (1点) 賞状・賞金 100万円
銀賞 (1点) 賞状・賞金 30万円
銅賞 (5点) 賞状・賞金 10万円
佳作 (8点) 賞品・賞状
- 審査員 栄久庵憲司, 栗津 潔, 菊竹 清訓,
ジョナサン・デ・パス,
小泉産業 (株) 社員審査員 3名
(順不同, 敬称略)
- 問い合わせ先
〒541 大阪市東区備後町3丁目 長谷ビル3F
小泉産業株式会社 照明事業本部
コイズミ国際学生照明デザインコンペ事務局
TEL 06-262-0861 (代表)
担当 芳野, 塚本, 中尾
受付時間 10:00 A. M. ~ 5:00 P. M. (月~土)

訃 報

◇ 故 松 本 政 雄 様

名誉理事・松本政雄さんは, かねてより病氣療養中でしたが, 去る11月24日午前6時7分東京通信病院に於て, 永眠されました。

謹んでお知らせいたします。なお, 葬儀は下記の通り執り行われました。

松本様は, 昭和46年4月に発足したJ I D中部事業支部創設の原動力として力を尽され, その後も支部長としての活動の他, 支部事務局をご当人の事務所内に併置するなど公私に亘り協会の為に尽力されました。

その後, 東京に移られてからは, 積極的にご病氣の治療に専念されていました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。尚, 協会からも弔意を表しました。ご報告いたします。(合掌)

記

通 夜 昭和62年11月25日（水）
告別式 昭和62年11月26日（木）
会 場 江古田斎場
キリスト教式
喪 主 松本 忠昭様

◇ 故 横 田 幹 郎 様

株式会社ダンインテリア（賛助会員）の代表取締役で、お元気であった同氏は、11月19日午前0時40分に出張先の長崎市において、心筋梗塞のため急逝されました。享年48歳の若さで、何とも口惜しい限りです。

謹んでお知らせ申し上げます。なお、葬儀は下記によりとり行われました。ご冥福をお祈りしたいと存じます。

尚、協会として弔意を表しました。（合掌）

記

前夜祭式 昭和62年11月20日（金）
告別式 昭和62年11月21日（土）
会 場 川崎市立葬祭場 第2式場
キリスト教式
喪 主 横田 良子様

「型而工房から」

豊口克平とデザインの半世紀

去る11月16日、東京・一ツ橋の如-water会館で当協会の名誉会員・豊口克平氏の「型而工房から」豊口克平とデザインの半世紀——と題した、出版記念会が開かれJ I Dメンバーも多数出席されました。当日の豊口さんは、喘息に悩まされていたとは思えないほど、お元気で、しかも終始、上機嫌でスピーチし、多くの方と握手を交わされていました。

今回出版された本は、50余年にわたるデザイン活動の折々に執筆された原稿を中心に、日本の近代デザインの草創期に型而工房の運動に参加して以来、戦前・戦中・戦後の大きな社会変動の中で、1人のデザイナーが何を考え、どう生きてきたかを、研究・制作・報告・論評・生活雑感などを通して多彩に記したものです。

この本を通して、豊口さんの半世紀と共に、これまでの軌跡をたどることは、日本の近代デザインのひとつの側面を探り当てると同時に、私達を取り巻くデザインと

生活環境の今後のあり方を模索する上で、大変役立つものと思われます。



スピーチする豊口克平さん

本の表紙のデザインは、DMと同一のユニークなイラストが描かれ、一寸派手な感がありますが、本の中味は豊口さんそのものと言ってよいと思います。ヴィジュアルな効果を狙った本が多い時代ですが、ときには、一字一字活字をかみしめながら、確かめていくことも良いでしょう。（理事・森谷 延周）

若い時は夢中で仕事を

去る11月16日は豊口克平さん（顧問、名誉理事、元理事長）の誕生日で、満82歳を迎えられた。この日、別掲のように記念出版会が催され、会員も多数出席、お祝いを申し上げた。以下、毎日新聞（62.11.19付夕刊 ひと欄）より転載いたしました。

一戦前、戦後の日本の工業デザイン界で指導的存在だった工業デザイナー、豊口克平さん（82）＝写真＝が、半世紀にわたって発表してきたデザイン論、エッセーなどを1冊にまとめた「型而工房から」（美術出版社）の出版記念会がこのほど東京・一ツ橋の如-water会館で開かれた。

永年、工業デザインをリードした人だけに芦原義信（日本建築学会前会長）、秋岡芳夫（工業デザイナー）、小池岩太郎（東京芸大名誉教授）、向井周太郎（武蔵野美大教授）、伊藤憲治（グラフィック・デザイナー）の各氏ら、建築家、デザイナー、評論家など約500人が参集した。

昭和3年、生活様式改善への新しい家具デザインを目指した型而工房設立に参加して以来の、近代デザイン史の歩みをつづっており、ぜんそくに悩まされ、医師から長時間の外出は止められている豊口さんは「若い時は間違ってもいいから夢中で仕事をやるべきです。私はもうヤマを越えたので好きな時間を十分に持とうと、毎日絵を描いて暮らしている。でも皆さんはまだ若いんだから、夢中になってくださいよ」と、懐かしい顔ぶれに上機嫌だった。

尚、「型而工房から」は、J I D会員向けに別にご案内となります。ご利用下さい。

(事務局)

会員の消息

◇ 樋 口 治

爽秋の候、お障りもなくご活躍の程、お慶び申し上げます。

私儀

この度はからずも、藍綬褒章を授与せられました事に対し、早速、御懇篤なご祝意を賜わりたる上、10月8日には加えて盛大なご賀筵を設けていただき、種々激励のお詞を頂戴し、御芳情のほど、肝に銘じて感謝致しております。

もとより御恩賞に価しない私ではございますが、皆様の御厚志と激励のお詞を体しまして、今後共、デザインの道を通じて、いささかでもインテリア産業界に報いさせていただく気持を固めておりますので、尚一層の御指導をお願い申しあげたく存じます。

書中略儀ではございますが、御礼と御挨拶申し上げます。向冷の折柄、一層の御自愛をお祈り上げます。

(関西)

昭和62年10月

樋口 治 拝

◇ 内 田 次 彦

秋がめぐって来ました。御無沙汰致しておりますが、皆様にはお変わりなくお過しの事と存じ上げます。

コンピューターハードウェアを中心とする最近の技術革新は人類がかつて経験した事のない速度で進みつつある様です。一方、政治の世界の後継争いなどを見ていると、テクノロジーと人間の生態のアンバランスが氣に

なります。

もっとも、これは見ようによっては科学が人間の本質までを変え得るものではない事の証なのかも知れません。

余談はさておき、此度、大阪勤務を命ぜられ下記に転居致しました。昭和36年に現在の会社に入りまして東京に6年、名古屋に8年、再び東京に12年、その間国外の空気を吸う機会にも恵まれ、高度成長時代からオイルショック、そして不確実性の時代といわれる歳月を経て高度情報化社会の今日へと、何とか健康に生きのびて参りました。これもひとえに皆様の公私にわたる温かいご支援の賜と感謝致しております。関西での仕事と生活は新たな経験ですが、私の人生に新しい一頁を書き加えるつもりでチャレンジしたいと考えております。

何卒、今後ともよろしくご交誼を賜わりますよう、お知らせ旁々お願い申し上げます次第です。

皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

(関東)

昭和62年10月

〒565吹田市山田西4-6-1

千里ガーデンハイツ 522号

TEL 06-876-4322

内田 次彦

勤務先 株式会社 大丸装工事業部

〒542大阪市南区鰻谷仲之町38

TEL 06-252-0641

東京留守宅 〒113東京都文京区湯島2-6-5

TEL 03-815-8896

◇ 嶋 佐知子

10月8日～29日までヨーロッパに行っておりました。30日は1日中仕事、1日は、HOUSE & GARDEN TOUR の説明役で9時～5時30分まで立ちんぼ。ボランティア仕事も楽ではありません。ミサワホームの1年生(インテリア)が多勢来てびっくりしました。東京には大金持ちも多く、いい住宅6軒のオープンハウスで楽しかったです。でもつかれました。

(関東)

◇ 大 橋 正 介

住居表示が実施されました。お知らせいたします。向寒のみぎり、皆様のご自愛をお祈りいたします。

(関東)

新住所名

郵便番号 251

神奈川県藤沢市本藤沢 1丁目8番4号

大橋 正介

◇ 式 田 完

秋冷の候、皆様のいよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび我が事務所メンバーの1人、佐々木正久君が第3回国際デザイン・コンペティションに入賞、名誉ある大阪市長賞をいただくことになりました。母校で学んだ知識を生かし今、事務所に新たなデザイン活動に前進しております。我々のメンバーに栄誉ある賞をいただいたことに感謝し、このチャンスを佐々木君自身の新たなデザインの原動力となるよう望んでおります。

われわれ一同より一層の努力のもとに、ものづくりを中心にしたデザイン開発の充実をはかりたいと思っております。

今後とも、われわれスタッフの前進にご支援とご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。

(関西)

ダイシン インテリア デザイン

代表 式田 完

◇ 村 井 輝 男

村井さんから、ご案内をいただきました。時期が間に合いませんでしたが、ご報告をかね、紹介いたします。

(事務局)

■「木」と「あかり」のハーモニーを楽しむオブジェ風ペンダント、フロアスタンド、ブラケット。そして「木」と「あかり」に「ガラス」をプラス。クールで暖い、エキセントリックなサイドボード、テーブルetc. 家具のデザイン10年余の村井輝男が久々に“遊び心”で試みた<ライト>と<家具>のいろいろを作品展と題し、下記の通り催し、お目にかけました。

(関東)

日時：11月14日(土)～12月13日(日)

場所：J I C (ジャパン・インテリア・センター) 1階
東京都中央区晴海 3-10

◇ 日 方 和 城

住所を変更いたしました。お手元のメモをご訂正下さいますようお願い申し上げます。尚、電話番号の変更はございません。

(関東)

〒166 東京都杉並区阿佐谷北 1-39-12

電話 03-337-8350

◇ 渡 辺 輝 男

このたび弊社では業務の拡充強化をはかるため12月1日(火)付で下記の通り新営業所を開設営業開始の運びとなりました。

つきましては今後とも一層のご支援お引立を賜われますようご案内かたがたお願い申し上げます。

京浜東北線東十条駅北口より3分の所ですので一度お立寄り頂ければ幸甚に存じます。

(関東)

有限会社 ワタナベインテリア

代表取締役 渡 辺 輝 男

所 在 地 〒114 東京都北区東十条 4丁目4番9号

コーポ 咲樹(サキ) 1F 102号

電 話 03-927-7631

ファックス 03-927-7625

本 社 東京都北区岸町 2丁目6番15号

電 話 03-908-4071

◇ 村 上 太佳子

寒くなってまいりました。このたび下記のように住所を変更いたしました。よろしくお願いいたします。

(関西)

<新住所>

〒618 京都府乙訓郡大山崎町円明寺脇山 1-261

◇ 下 島 資 子

このたび、気分も新しく下記事務所を開設いたしましたので、お知らせします。

(関東)

<事務所・住所>

榎木型屋のむすめの仕事部屋

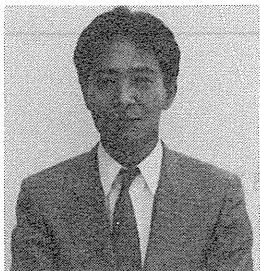
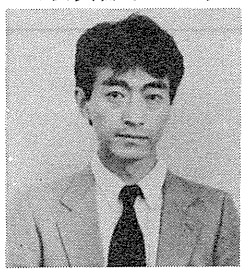
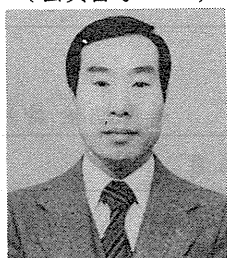
〒150 東京都渋谷区渋谷 1-3-18

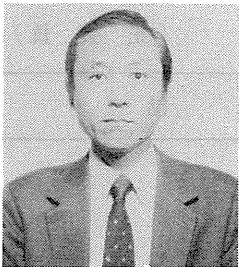
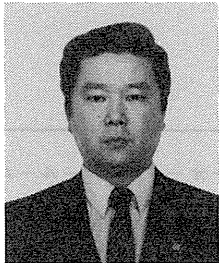
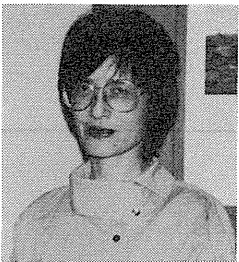
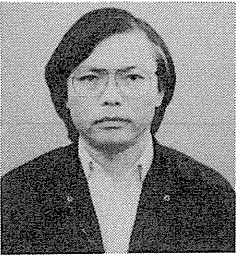
ビラ・モデルナ C-505

電話 03(409)3231

●新入会員の紹介

(正 会 員)

会員名及番号		住 所 及 電 話
みなみ ひとし 南 等 (会員番号 663) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	株式会社 大丸装工事業部 東京都中央区京橋1-1-6 越前屋ビル内 〒104 TEL 03-271-3626 FAX 03-271-4265 神奈川県横浜市戸塚区平戸3-58-15 シャルム東戸塚306 〒244 045-824-3082 内 田 次 彦 ・ 山 崎 晶
た じま みち こ 田 島 理 子 (会員番号 664) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)岡村製作所東京インテリア部 ニューオータニショールーム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ホテルニューオータニ新館2階 〒102 TEL 03-263-9173 FAX 03-239-0507 千葉県習志野市藤崎2-18-3 スクエア津田沼105 〒274 0474-78-3114 山 品 元 ・ 森 谷 隆 男
や の まさ のり 矢 野 正 則 (会員番号 665) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	矢野デザイン事務所 大阪市南区北炭屋町27 第一大京ビル2階15号 〒542 06-245-2865 大阪府城東区今福東3-1-12-504 〒536 06-939-9936 栢 原 秀 榮 ・ 宮 本 誠 三
ほ しな かず お 保 科 和 夫 (会員番号 666) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)高島屋工作所 東京都中央区日本橋茅場町2-12-7 〒103 TEL 03-662-7411 FAX 03-669-2989 東京都江戸川区清新町1-4-6-707 〒134 03-878-1318 山 品 元 ・ 長 澤 精 一 郎

三 上 英 夫 (会員番号 667) 	<勤務先・事務所> (株) 高島屋工作所 家具販売事業部 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-1-8 〒222 TEL 045-472-3335 FAX 045-472-7666 <自宅> 神奈川県横須賀市浦賀丘 3-1-9 〒239 0468-41-8706 <推薦者> 山 品 元 ・ 長 澤 精一郎
た じま けん ご 田 島 憲 悟 (会員番号 668) 	<勤務先・事務所> 殖産住宅相互(株) 本社ルーミング部 東京都渋谷区代々木 2-11-17 〒151 TEL 03-370-1211 (内263) FAX 03-370-1886 <自宅> 神奈川県横浜市南区永田みなみ台 1-3-117 〒232 045-715-2910 <推薦者> 中 村 圭 介 ・ 白 石 勝 彦
ご とう 後 藤 みね子 (会員番号 669) 	<勤務先・事務所> (株) 大丸 大阪梅田店 大阪市北区梅田 3-1-1 〒530 06-343-1231 (内2325) <自宅> 京都市伏見区深草中ノ島町 7-13 〒612 075-641-0653 <推薦者> 山 崎 晶 ・ 安 永 一 典
ひら かわ よし ひろ 平 川 義 浩 (会員番号 670) 	<勤務先・事務所> (株) スペース ワン 大阪市東区北久宝寺町 5-45-2 本町アーバンライフ 403号 〒541 06-245-4376 <自宅> 兵庫県宝塚市野上 3-3-34 〒665 0797-71-0843 <推薦者> 山 崎 晶 ・ 安 永 一 典

(賛助会員)

会 員 名		住 所 , 電 話 及 ご 担 当 者
株式会社 テキストスタイル飯田	住 所	東京都渋谷区元代々木町 1-1 〒151 TEL 03-465-5001 FAX 03-465-5055
	担 当 者	代表取締役 飯 田 安 子
	紹 介 者	大 野 美代子

● 会 員 の 異 動

(名誉会員, 正会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
島 崎 信 (関東 P 80)	事 務 所	東京都新宿区新宿 1 - 24 - 1 大塚ビル 1 階 〒 160 03 - 352 - 5499
尾 崎 博 志 (中部 P 207)	事 務 所 移 転	名古屋市中区大須 3 - 24 - 21 ライオンズマンション大須 6 - 17
内 田 次 彦 (関東 P 49)	転 勤 転 居	(株) 大丸 装工事業部 大阪市南区鰻谷仲之町 38 〒 542 06 - 252 - 0641 大阪府吹田市山田西 4 - 6 - 1 千里ガーデンハイツ 522 号 〒 565 06 - 876 - 4322
大 橋 正 介 (関東 P 54)	自宅住居表示変更	神奈川県藤沢市本藤沢 1 丁目 8 番 4 号 〒 251
日 方 和 城 (関東 P 104)	事務所・自宅住所	東京都杉並区阿佐谷北 1 - 39 - 12
狩 野 雄 一 (名誉 P 30)	自宅住居表示変更	東京都練馬区桜台 2 丁目 33 番 3 号
山 田 晃 (関東 P 125)	事 務 所 移 転	東京都文京区千駄木 2 - 13 - 1 ~ 416 〒 113 TEL 03 - 822 - 3369 FAX 03 - 823 - 8723
村 上 太 佳 子 (関西 P 176)	自 宅	京都府乙訓郡大山崎町円明寺 脇山 1 - 261 〒 618
渡 邊 輝 男 (関東 P 130)	新 営 業 所 開 設	東京都北区東十条 4 丁目 4 番 9 号 コーが咲樹 (サキ) 1 F 102 号 〒 114 TEL 03 - 927 - 7631 FAX 03 - 927 - 7625
下 島 資 子 (関東 P 81)	事 務 所 開 設	(株) 木型屋のむすめの仕事部屋 (通称 K・M・S Co) 東京都渋谷区渋谷 1 丁目 3 - 18 ビラ・モデルナ C - 505 〒 150 TEL 03 - 409 - 3231 FAX 03 - 409 - 3537
卯野木 憲 二 (関東・新入会員)	勤務先・事務所	トライ・エス・ピー (株) 代表取締役 東京都江東区牡丹 1 - 12 - 12 谷ビル 1 F 〒 <u>135</u> TEL 03 - 630 - <u>5312</u> FAX 03 - 630 - 9743

お詫び。上記~~~~ 部については前号にミスがありました。慎しんで訂正させていただきます。

(株) サンゲツ東京店 (P 254)	担 当 者	東京店営業課 課長 田中三千春
--------------------------	-------	--------------------

委員会開催

		[12月]	3 日	30周年記念事業(委)企画小(委)
			"	交流委員会
[11月]	6 日	組織委員会	4 日	選挙管理委員会
	"	広報委員会		63-64年度役員選挙 開票
	11 日	出版委員会	5 日	広報委員会
	18 日	教育委員会	7 日	出版委員会
	19 日	交流委員会	9 日	総務委員会
	20 日	共同委員会	"	広報委員会
		IFFT '87 パネルディスカッション	16 日	組織委員会(予定)
	24 日	関東事業支部(委)	18 日	62・第5回理事会(予定)
	25 日	広報委員会	"	関東事業支部(委)
				12月のJ I Dサロン
		[63・1 月]		
			27 日	63年新春交礼会(予定)

会議・会合出席

		[11月]	17 日	IFFT 祝賀パーティ
			出席者	渡 辺 優 三 輪 正 弘 吉 良ヒロノブ 阪 井 良 種 山 品 元
[10月]	28 日	インテリアプランナー事務連絡会議	18 日	ジャパンインテリアセンター名称 変更祝賀パーティ
		出席者 山 品 元		出席者 渡 辺 優 山 品 元
	30 日	第3回国際デザイン・フェスティバル 開会式	"	東京ブロック別デザイン会議
		理事長他理事多数		出席者 山 本 棟 子 山 品 元
[11月]	5 日	昭和62年度海外デザイナー研修閉講 式	"	(社)インテリア産業協会理事会
		出席者 日 方 和 城		出席者 渡 辺 優
	6 日	インテリアプランナー合同会議	19 日	クラフトマンズ・ヨコハマ 祝賀会
		出席者 渡 辺 優		出席者 渡 辺 優
	14 日	IFFT・セミナー打合せ		
		出席者 渡 辺 優 小 坂 希八郎 阪 井 良 種		

(敬称略)

寄贈図書 (・印寄贈者)

	書(誌) 名	月 日	備 考
・(株)産 業 調 査 会	オフィス事典	62. 9・30	
・ト ー ソ ー 出 版 (株)	ニューヨーク文化案内	10・29	
・K & K ア ー キ テ ク ツ 小 宮 容 一	インテリア構成材 — 選び方・使い方 —	11・ 9	
・(社)新 日 本 建 築 家 協 会	1987年版 会員名簿	11・12	
・豊 口 克 平	型而工房から 豊口克平とデザインの半世紀	11・16	

事務局短信

- ① 12月に入り、事務局は世間並みに忙しくなっています。何とか事務能率を向上させるべく、ない知恵を絞っております。年明けに「事務アンケート」を出す計画です。その節はご協力をお願いいたします。
- ② 今冬は寒気が酷いようです。事務局長も卒先垂範、風邪をこじらせてしまいました。会員各位、十分ご自愛下さい。
- ③ インテリアプランナーの講習案内の請求が、当初予想していた通り多く、会員諸賢の関心の高さを伺わせました。
- 講習実施は来春4月からです。参考資料、残部あり。ご請求下さい(切手代350円ご負担乞う)。
- ④ 役員選挙の結果が、早やばやと工藤選挙管理委員長から寄せられました。予定を早めて、本号に掲載しました。選挙への参加協力どうもありがとうございました。
- ⑤ 訃報をお伝えする、気の重い年の瀬となりました。松本政雄さんの温顔が今でも去来します。弔問でお会いした会員の方々が皆一様に沈痛な面持ちでした。
- ⑥ 変って、豊口克平さんの出版パーティは、とても盛況でした。会員の方々の出席も多く、実行委員会の方々、本当にお疲れさまでした。

- ⑦ 本号と相前後して、「1987 J I D協会賞」の案内が届きます。年末年始のお忙しい時期と重なりますが、ぜひ会員の積極的なご推薦をお願いいたします。推薦資料等が同時添付できない場合、推薦文だけでも、あらかじめお送り下さい。メ切日は63.1.20(水)です。
- ⑧ 1988年、J I D新春交礼会について、交流委員会が検討中です。年明けすぐにご案内できると思います。例年1月末に開催されて来ました。ご参加、ご予定下さい。
- ⑨ 故・竹内篤さんの本『竹内篤の軌跡 — 昭和のデザイン情況のなかで』(A4版美装、約130ページ。会員特価3,500円(送料とも)の残部があります。どうぞ電話でお申込み下さい。

(03-403-3649 事務局)

- ⑩ お願い。会費未納の方、年末も迫りました。財政は予断を許しません。至急納入のアクションを起して下さい。
- ⑪ 事務局の年末年始にかけての事務取扱いスケジュールは、下記の通りです。ご不自由をおかけいたしますが、ご協力の程よろしくをお願いいたします。

年内事務：12月26日(土)まで
 新年事務：1月6日(水)より
 (1月6日は正午まで)

(事務局)

頒布案内

「インテリアデザイン」(機関誌)		
会 員	1 冊	無 料
"	2冊目以降	700 円
	(送 料	200 円)
会 員 外	(送料共)	1,200 円

会 員 名 簿		
会 員	1 冊	無 料
"	2冊目以降	3,000 円
	(送料共)	
会 員 外	6,000 円	(")

年 鑑「日本のインテリアデザイン」— しつらの創造		パンフレット 申込ハガキあり
会 員	13,000 円 (送料共)	
会 員 外	14,600 円 (")	

「世界のインテリア」		パンフレット 申込ハガキあり
会 員	13,000 円 (送料共)	
会 員 外	13,950 円 (")	

最新版インテリアマップTOKYO AREA		
会 員	定価 1,700 円	1,610 円 (送料共)
会 員 外	(送料 250 円)	1,950 円 (")

デザインの業務および報酬基準		報 酬 基 準 書	契 約 書
インテリア	会 員	300 円	100 円
	(会 員 外)	(500 円)	(100 円)
プロダクト	会 員	300 円	200 円
	(会 員 外)	(500 円)	(500 円)

「大 型 会 員 証」	
正 会 員	3,000 円 (送料共)

「竹内 篤の軌跡」	会員特別価格	3,500 円 (送料共)
-----------	--------	---------------

委員会の動き（追加）

●組織委員会

— 第3回委員会 —

- ・場 所：建築家会館 3階会議室
- ・日 時：62.11.6 6:30～9:00 PM
- ・出席者：森谷延周理事，中川齊二副委員長，片柳和男，野原建広，宮島恵美子，（小坂希八郎委員長 欠席）

先きの組織改訂にともない，変則的に任期途中で発足した委員会であり，残り少ない任期中に具体的な活動を起こすことはむずかしいが，少なくとも次期委員会へ引き継げる方針を見い出した。

組織改訂の目的も協会の活性化のための「会員の拡充」が第1にあげられている。この点を目指し，特に若い会員から委員になって頂き，従来のカラを脱して，新しいアイデアで協会を見直そうとスタートした。

具体的には主に以下の項目を中心に検討に入っている。

- 会員の資格に関する事。
- 会員の拡大に関する事。
- 幹旋業務に関する事。
- 会員の作品管理に関する事。
- 会員のメリットに関する事。

（委員長 小坂希八郎）

●総務委員会

— 総務委員会から —

① 大型会員証の申込状況について

前総務委員会からの引き継ぎ事項でもあり，現総務委員会でも2年越しの作業となった大型会員証は，おかげをもちまして完成し，申込会員に発送致しました。発送等具体的作業は事務局の皆様方に実施していただきました。

11月末迄で，申込のあった会員は59名とほぼ予想通りと言えるところです。印刷の予備もまだ多少ありますので，必要な方は事務局迄申し込んで下さい。

② 協会規定集の見直しについて

入会申込書等，書式の見直しと整備を行いました。

これらを進めているうち，いくつかの問題点が浮びあがってきました。

当協会の規定集が長期間にわたって総合的に見直されなかった為いくつかの矛盾点がある事や，現状にそぐわない部分等もクローズアップされました。そこで総務委員会としては，本年度の重点課題として，規定集の見直しを実施することにしました。

様々な方面から出来るだけ詳細に検討し，理事会等に答申すると共に，諸規定集の改定版を作成し会員各位に配布したいと考えています。

現段階では，様々な矛盾や，問題点と思われる部分の抽出と，未整備の部分の抽出を行っている段階です。その中から主なものを取りあげてみると，

1. 組織改訂に伴う各委員会の細則等の整備。
2. 役員選挙規定が一部改正されながらも，系統だった表現がなされていない。
3. 準会員についての細則や，入会，退会等についても一部表現のあいまいな部分がある。
4. 会計細則等，時代の背景にそぐわない部分もでている。
5. 協賛，後援等に関する基本ルールが出来ておらず，このルールの確立が必要である。
6. 事務局業務と委員会業務との調整。

などであり，今後充分な検討と考察を行ったうえ，総務委員会として案をとりまとめたいと考えています。まもなく創立30周年を迎える当協会にとって，その歴史にふさわしい，しっかりとしたものにしたいと考えています。

（総務 秋山 修治）

J I D 賛助会員ディレクトリー (抜粋)

創 造 社 デザイン専門学校 大阪市福島区福島 6-25-23 〒 553 (06) 452-0821 (代) (06) 452-5561 大野幸夫 (教務部 副校長)	(株) 竹 中 工 務 店 東 京 本 店 東京都中央区銀座 8-21-1 〒 104 (03) 542-7100 角幡 進 (設計部副部長)
象 印 マ ホ ー ビ ン (株) 大阪市北区天満 1-20-5 〒 530 (06) 356-2403 井上経倫 (営業本部デザイン室室長)	(株) 竹 中 工 務 店 大 阪 本 店 大阪市東区本町 4-27 〒 541 (06) 252-1201 (内 3810) 渋谷 章 (意匠課長)
大 成 建 設 (株) 東京都新宿区西新宿 1-25-1 〒 160-91 (03) 348-1111 西村道男 (建設本部設計部インテリア室室長)	(株) ダ ス キ ン 大阪市大淀区中津 1 丁目 6-28 〒 531 ホーコクビル 4 F (06) 372-8771 西村晴夫 (業務用商品開発室室長)
(株) 大 丸 装 工 事 業 部 大阪市南区鰻谷仲之町 38 〒 542 (06) 252-0641 石村昌男 (部長)	立 川 ブ ラ イ ン ド 工 業 (株) 東京都渋谷区代々木 4-30-7 〒 151 (03) 375-1111 石原弘道 (東京支店副支店長)
(株) 高 島 屋 事 業 本 部 東京都中央区日本橋 2-4-1 〒 103 (03) 211-4111 渋谷 貞 (事業統括部設計室長)	(株) ダ ニ エ ル 神奈川県横浜市西区岡野 2-17-18 〒 220 (045) 311-4001 (代) 久保雅俊
高 畑 発 条 工 業 (株) 東大阪市横沼町 3-3-7 〒 577 (06) 722-8501~5 FAX (06) 723-0312 高畑雅彦	(株) ダ ン イ ン テ リ ア 東京都渋谷区代々木 2-12-1 〒 151 記録映画社ビル (03) 370-2228

1987/11・12

頒価 300 円 (送料共)

昭和62年12月25日発行 (日本インテリアデザイナー協会月報1987年通巻第 148 号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会 印刷所・(社) コロニー印刷

振 替・東京 8-76389